

虐待などで親を頼ることができない子どもたちを
一緒にサポートをしてみませんか？

「児童養護施設」や「里親家庭」から
社会へ巣立つ高校3年生向けの1人暮らし準備
セミナーである【**巣立ちプロジェクト**】と一緒に
盛り上げてくださる方を募集しています！



社会人ボランティア募集！

児童養護施設などで暮らす子どもたちは、18歳になると施設を出て、ひとりで生きていかなければなりません。弊団体では、巣立ちを目前に控えた高校3年生を対象に、月1回の半年間にわたるセミナー「巣立ちプロジェクト」を実施し、自立するための準備をサポートしています。あなたも一緒に子どもたちの学びを見守るボランティアとして活動してみませんか？

＼募集期間：5月17日(土)～6月29日(日)／

	オンライン型	会場型
募集エリア	日本各地 ※Zoom実施の為	表参道・中野・世田谷・八王子 横浜・千葉(千葉～船橋)
募集人数	50人前後	60人前後
参加費	・ボランティア登録費 2,000円 ・ハンドブック代 1,400円(送料、事務手数料含む) ・研修参加費(「児童養護施設と虐待の心理的影響」) 2,000円 ・その他雑費(お菓子・飲み物代など等) 1,500円 ※会場型のみ	

▼曜日とエリア希望について ※スケジュールの詳細は「裏面」参照

曜日は土・日どちらかに固定、原則は希望通りになります。

オンライン・会場かは希望は伺いますが、ご希望に沿えない場合がございますので予めご了承ください。
また会場希望の場合は、遠方への参加をお願いする場合がございます。



認定NPO法人ブリッジフォースマイル
〒107-0062 東京都港区南青山3-1-30
☎:03-6842-6766

【申込はコチラから】

本活動へ参加するには
弊団体へのボランティア登録が
必要です。右記QRコードもしくは
下記URLから、申込みください。



【URL】<https://www.b4s.jp/post-10720/>

【巣立ちプロジェクトのスケジュールなど】

▼巣立ちプロジェクトの進め方

8月～翌1月までの半年間。月1回、全6回のセミナーを実施します。1つのチーム(以下、ランチ)に所属し同じランチに参加するボランティアメンバーたちとともに、高校生を支えていただきます。

▼参加申込み～巣立ちセミナーが始まるまでの流れ

・6月29日(日) or 7月12日(土) or 7月27日(日) ①各日程10時～12時での開催。
研修受講@オンライン 上記3日程のいずれかで研修受講。受講が難しい方は応相談。

・7月～8月上旬 (日程は複数予定)
巣立ちの要点説明や注意点のインプット会(1～1.5時間)

・7月
所属ランチ決定

・8月03日(日) ①10時～11時30分 ※以降のスケジュールは下記参照
初回の虎の巻(事前予習会)@オンライン



▼巣立ちセミナーの全体スケジュール ※日曜日程か土曜日程のどちらか選択可。

	虎の巻 (事前予習会) ① 10時～11時30分	セミナー ① 9時～16時30分	
		日曜日程	土曜日程
<第1回>	08月03日(日)@オンライン	08月17日(日)	08月23日(土)
<第2回>	09月14日(日) @オンライン	09月21日(日)	09月27日(土)
<第3回>	10月12日(日) @オンライン	10月19日(日)	10月25日(土)
<第4回>	11月09日(日)@オンライン	11月16日(日)	11月22日(土)
<第5回>	12月07日(日) @オンライン	12月14日(日)	12月20日(土)
<第6回>	01月18日(日) @オンライン	01月25日(日)	01月31日(土)

▼ブリッジフォースマイルからのお願い

- ・全6回中4回以上の参加(当日+虎の巻)ができる方。もちろん全日程ご参加いただける方大歓迎です。
前もってチーム内でお休み予定を共有し合います。
班編成があるので、前日～当日での欠席は極力お控えください。(病欠以外)
- ・会場型は、お菓子や飲み物の買い出し、当日の会場作りなどもお願いします。
- ・オンライン型は、Zoom操作が必要になります。当日までに基本の習得をお願いします。(レクチャー有)

※本活動にはブリッジフォースマイルへのボランティア登録が必要です。

お申込みを希望される方は、表面の下部にある「QRコード」もしくは「URL」からお申込みください。

【参加した高校生の声】

『セミナーを通じて、他の施設の子たちと交流できたことは、私の財産。施設の外にも、同じ境遇の子がいる
ということを感じることができたし、精神的な支えになった』
『参加するとポイントが貯まり、家電製品などと交換できるところに惹かれた。私はパソコンやスーツ
をもらい、一人暮らしを始める時、本当に助かった』

【社会人ボランティアの声】

『子どもたち、ボランティアたちと濃密な時間を過ごせた。自己の成長につながったと感じる』